

<オンライン会社説明会 質疑応答>

開催日：2022年2月28日(月)19:00-20:00

説明者：財務部 IR 室長 森山 長栄

【説明会での質疑応答】

Q1:業績上方修正をされたが、背景を教えてください。

該当資料 35 ページ

資料には2010年3月期から2021年3月期までの業績推移を掲載しております。一時、踊り場のような業績推移の状態もありましたが総じて成長してきているとみてとれます。今期に関しては、21年4月時点で、当期利益1,500億円の計画をしておりましたが、金属市況の上昇や産油国を中心に自動車販売が堅調に推移したこと等により、21年10月に1,900億円へと上方修正致しました。またこの状況がさらに続いたことを踏まえて、22年2月に200億円を上乗せし2,100億円へ再度の上方修正を致しました。懸念事項はあるものの、2,100億円の達成は可能とみております。

Q2:配当金につき、増配されるとのことだが、業績が想定よりも良い場合はどうなるのか？

該当資料 36 ページ

当社は「連結配当性向25%以上を基本方針とし、安定的な配当の継続並びに1株当たりの配当の増額に努めて参ります」を配当方針として掲げております。経済状況や業績に左右されることなく、安心して当社の株を保有頂けるように安定的な配当の継続と増額に拘っており、ご覧の通り赤字になった期においても配当は増額しました。今期については2度の業績上方修正に基づき、1株当たりの配当金を同回数増額しており、最終的には年間で1株当たり150円の配当を実施する予定です。このように増額に拘って株主の皆様へ還元をおこない、業績がさらに上振れる場合は、さらなる配当の増額も検討することになります。

Q3:ウクライナ情勢における自動車販売の影響をどの程度見込んでいるか。

該当資料なし

当社としては安全第一に対応しております。ウクライナに関しては当社の事業拠点は無いので直接的な影響はないと考えております。一方、ロシアについては当社の現地法人に加えて、自動車関連の事業拠点がいくつかあります。現在、グループ会社と共に影響について精査しております。

Q4: 他商社比較で御社の強みは何か？

該当資料 6 ページ

大手商社と比較して、規模や事業ポートフォリオが異なるため、単純比較は難しいのですが、あえて言うならば、得意分野が他商社と違うと認識しています。当社は「専門商社の集団でありたい」という思いがあり、当社の強みがあるところでしっかり対応していきたいと考えます。また、当社は様々な地域、業種に現場を持っており、作業服を着た商社マンとして、現場に立って、現場で汗をかいて、お客様のニーズをつかみ取ることをモットーとしております。これは当社の特徴であり、そして強みであると認識しています。

Q5: カーボンニュートラルへの取り組みつき、2030年までに1.6兆円以上の投資をするとのことだが、内容は？

該当資料 33 ページ

カーボンニュートラルの取り組みにつき、2030年までに1.6兆円以上の投資をしていきます。当社として本部の枠を超えた、5つのワーキンググループ(以下、WG)を設定し、それぞれで取り組みを進めております。

該当資料 48 ページ

再エネ・エネマネ WG に関しては7,000億円の投資を予定しております。例えば、自社ビルの屋根に太陽光パネルを設置して、自社で電力を賄うことや風力発電を中心に再エネ事業の拡大を図っていきます。

該当資料 49 ページ

バッテリーWG に関して、代表的なところで次世代自動車の電池に必要なリチウムの供給を拡大させることなどで4,000億円の投資を実施していく予定です。

該当資料 50 ページ

水素・代替燃料 WG に関しては投資額2,000億円を予定し、英国や米国での港湾物流などの動力源を水素燃料に変えることなどでGHGの排出量を減らす実証実験をしております。

該当資料 51 ページ

資源循環・3R WG では使用済みのバッテリーなどを再利用するなどリサイクル関連が典型例、この他金属やプラスチックなどのリサイクル事業なども合わせて2,000億円の投資を行っていく予定です。

該当資料 52 ページ

Economy of Life に関しては医衣食住関連のビジネスになります。例えば、衣料のリサイクルやフードロスの削減などの取り組みに1,000億円の投資を予定しております。

【説明会後に頂いたご質問への回答】

Q6: コロナ影響について教えてほしい

該当資料なし

21年3月期の業績に関してはコロナ影響によるロックダウンなどで自動車関連事業を中心に苦戦をしましたが、当社が“エコノミー・オブ・ライフ”と呼ぶエネルギーや医薬品といった事業、商材は経済環境変化への耐性が強く、業績を下支えしました。今期に関しては金属市況の上昇や産油国を中心に自動車販売が堅調に推移したことにより、業績を当初の見込みから上方修正しました通り、コロナのネガティブ影響からは回復してきております。

Q7: 障がい者雇用率について教えてほしい。

該当資料なし

バリアフリー対応エレベーターや多目的トイレ、点字ブロックを設置し、施設のバリアフリー化を進めるとともに、「障害者雇用促進法」上の特例子会社である「豊通オフィスサービス(株)」と共に障がい者の雇用を促進しています。当社・豊通オフィスサービス(株)・豊通ヒューマンリソース(株)特例子会社グループ適用の障がい者法定雇用率は、2021年4月時点で2.62%となります。福利厚生充実を兼ねた取り組みとして、社内にマッサージ施設を開設し、その施術者としてあん摩マッサージ指圧師の国家資格などを保有する視覚障がい者をヘルスキーパーとして採用しています。2016年からは臨床心理士や精神保健福祉士といった専門スタッフを配置し、障がい社員のサポート対応を行っています。障がい者法定雇用率の段階的な引上げを視野に入れ、対象となる豊田通商グループ39社の法定雇用率遵守を目標に豊通オフィスサービス(株)が主体となり障がい者雇用促進活動を実施し、採用から定着の支援および各種啓蒙活動などの取り組みを行っています。

Q8: 商社株は資源価格の影響を受けやすい印象がありますが、御社はどうでしょうか？

該当資料なし

当社が保有する資源・権益に関しては現状リチウムのみになります。そのため、資源価格により当社業績が大きく変動することはありませんが、ビジネス上、金属スクラップ/コモディティ系非鉄(アルミ等)/レアアース系(パラジウム、ネオジウム等)で影響を受けることはあります。また間接的影響ではありますが、資源価格が高騰することで資源国の景況感がよくなり、自動車の購買意欲が高まり、販売が好調となることがあります。